「若旅★授業」大阪物療大学（2016.8.9）実施報告

この度、平成28年8月9日（火）、近畿運輸局は大阪府堺市の大阪物療大学で、保健医療学部診療放射線技術学科１～３回生の約２５０名を対象に、大阪府では初めての「若旅★授業」を実施しました。講師として、観光コンサルタントの太田均氏をお招きし、『ちょっと「旅してみよう」っか！』と題して授業を行いました。

自己紹介に続いて、当時高校野球で甲子園を一世風靡した箕島高校とその町を自分の目でどうしても見たいという強い思いから、15 歳の高校入試終了後、初の列車一人旅に挑戦したことが、旅の素晴らしさを知るきっかけとなったと話されました。尾道、東京へとその旅の距離が少しずつ伸びていったこと、どんどんその素晴らしさに目覚め、大学進学後も旅を続け、ついには趣味が高じて大手旅行会社に入社するに至ったと語られました。入社後の初の海外添乗業務が、いきなり欧州（ロンドン～ジュネーブ～パリ）への派遣であったこと、またそこでの失敗談も披露され、学生さんたちも熱心に耳を傾けていました。次々と映し出される素晴らしい写真にも、みなさん釘付けの状態でした。

旅行に出かけた時に、訪問先で必ずしてほしいこととして「現地の人と会話する」、また「現地のものを食す・体験する」ことを勧められました。いよいよ本題に入っていきます。つまり、それが旅に出てほしい理由であり、そこには必ず何かしら得るものがある「感動・発見、新たな価値観を知る、そして見知らぬ土地初めて出会う人々、つまり小さな挑戦と勇気を持つこと、そしてそれらの小さな積み重ねが自身の成長にもつながる」ということを話していただきました。

医療系の大学ということで、少し専門的な内容として、医療ツーリズムの分野にも触れ、このツーリズムの進展により、経済・新産業創出・雇用創出といった波及効果も期待されることもお話しされました。また、「訪日外国人旅行者の不慮の怪我・病気等に対する病院の受入れ事情」などについても、データとともに説明されました。

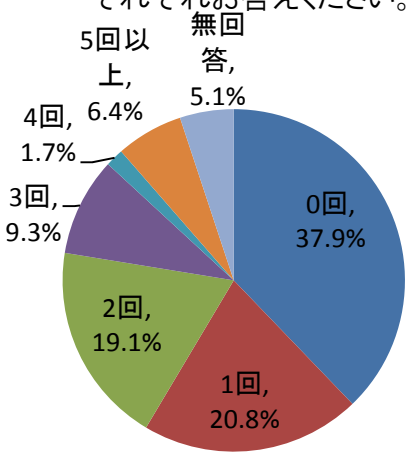
旅行と言っても、近くの知らない所へ行くいわゆる「ちょこ旅」から国内の日帰り、宿泊旅行、海外ホームステイそして世界一周と　その巾は大変広いけれど、すべてが旅であること、そしてすべての体験や触れあいがコミュニケーションとして人と人とのつながりを生み出すと熱く語られました。最後に、旅を通じて人との出会いを大切にし、夢を持ち目標に向かって頑張って下さい、と締めくくられました。

若旅★授業（大阪物療大学　2016.8.9）アンケート結果　概要

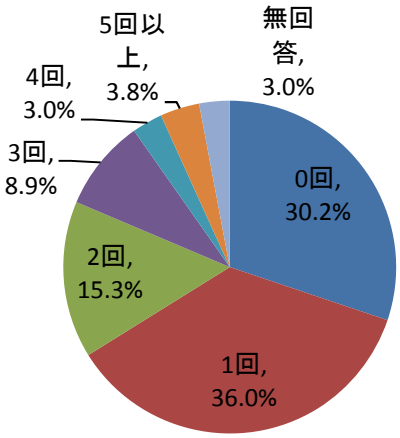
〇事前アンケート

【授業を受ける生徒さんのアンケート結果】（n＝236　　大学1～3回生）

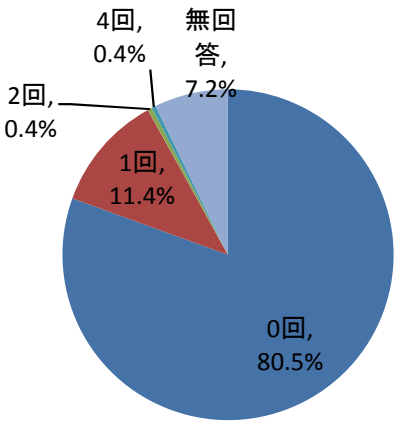
（1）　あなたは年に何回程度、国内旅行（日帰り･宿泊）および海外旅行をしますか。
それぞれお答えください。



国内日帰り旅行

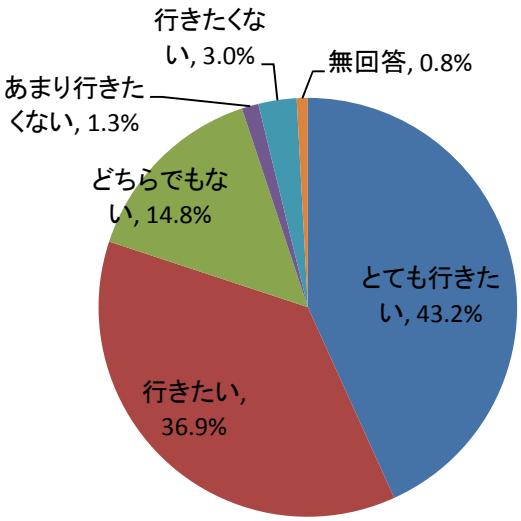


国内宿泊旅行



海外旅行

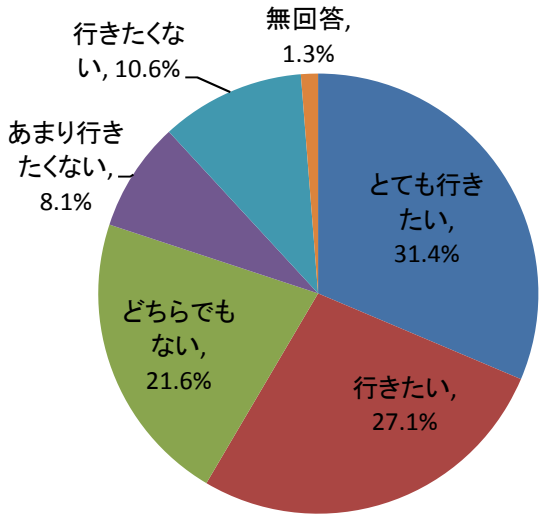
（2）**国内旅行**に対する意欲を教えて下さい。



生徒さんの43.2%が「とても行きたい」、36.9%が「行きたい」ということで、合わせて80%以上の学生さんが興味を持っていることがわかりました。

「あまり行きたくない」「行きたくない」と答えた人は全体の4%程度で、その理由として、「お金がない」「つかれる」「人混みが嫌い」「外に遊びに行くより趣味などで遊ぶ方が楽しい」といったものが挙げられました。

（3）**海外旅行**に対する意欲を教えて下さい。



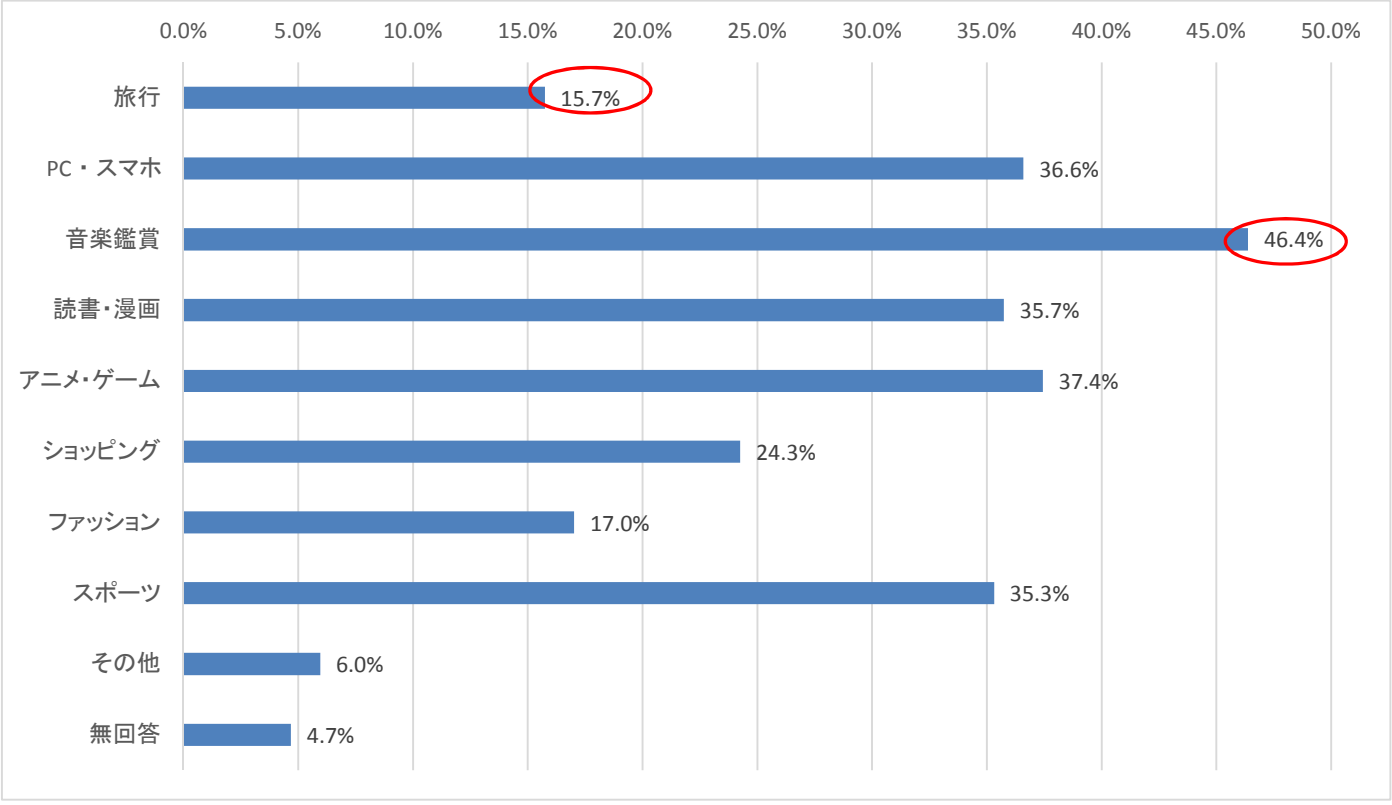
生徒さんの31.4%が「とても行きたい」、27.1%が「行きたい」という回答で、合わせて約60%の学生さんが興味を持っていることがわかりました。

「あまり行きたくない」、「行きたくない」と答えた人の理由として、情勢不安の影響があるようで「治安が悪い」「怖い」といった回答が多くみられました。また、「英語が話せない」「パスポートが無い」「日本が良い」「飛行機が嫌」といった理由も挙げられていました。

（4） 行ってみたい旅行先や旅のスタイルを教えて下さい。

行ってみたい旅行先については、国内では北海道という回答が一番多く（26人）、続いて九州（11人）、沖縄（10人）という回答が多かったです。
海外では、アメリカという回答が一番多く（25人）、続いてヨーロッパ（19人）、オーストラリア（17人）が多かったです。
また、旅のスタイルでは、友達などと複数（48人）が一番多いものの、一人旅（34人）も多く、一人旅と友達とも（5人）という回答もありました。日帰りよりは宿泊という回答が多かったです。

（5） あなたの趣味を教えて下さい。【複数回答可】



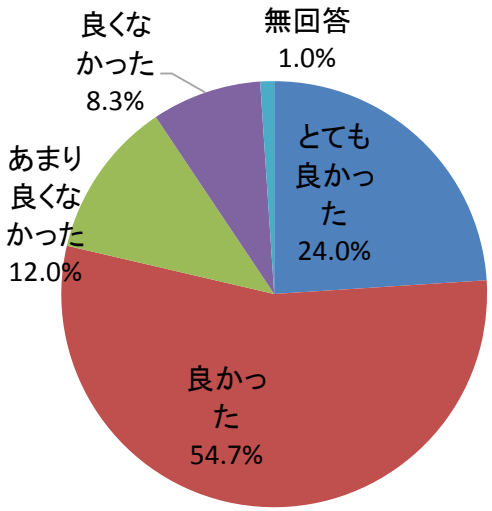
「音楽鑑賞」と回答した生徒さんが一番多く、全体の約半数であるのに対し、「旅行」と答えた生徒さんは15.7%と低い数字で、残念ながら、その他・無回答を除き、最下位という結果でした。PC、漫画、ゲーム、アニメなど室内向けの趣味が35%前後と高順位で並び、旅行の倍以上のポイントでした。
高校生に比べると高めの数字ですが、旅行に行きたいという気持ちはあっても、やはり金銭的なことや時間的なこともあって、旅行が趣味としてのレベルに達していない学生さんが多いことがうかがえました。

○事後アンケート

【授業を受けた生徒さんのアンケート結果】(n＝192)

（1） 今回の講演はいかがでしたか

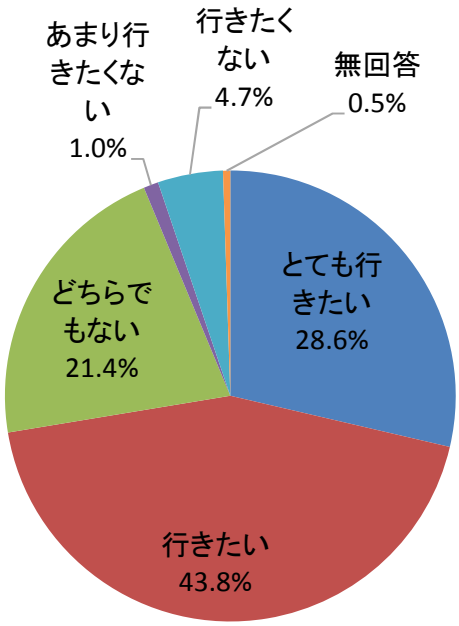
78.7%の生徒さんが、「とても良かった」「良かった」と回答してくれ、全体の4/3以上を占めています。旅行は趣味の中では低い順位でしたが、旅行そのものには大変興味を持ってくれていることがわかりました。



（2） 講演を聞いた後の、**国内旅行**に対する意欲を教えて下さい。

今回の「若旅★授業」を受けて、28.6%の生徒さんが「とても行きたい」、43.8%の生徒さんが「行きたい」と答えてくれました。

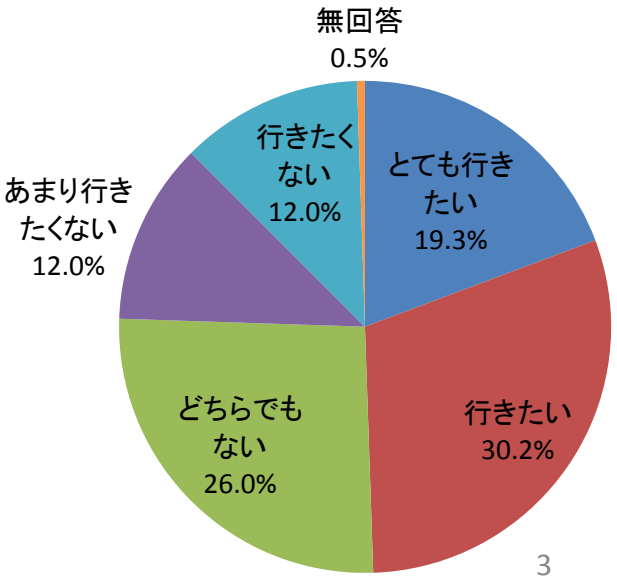
講演前の回答と比較すると、「とても行きたい」、「行きたい」と答えてくれた生徒さんは、80.1%から72.4%になりました(7.7%減)。旅先でのトラブルの話もあり、少し大変そうなイメージを持ったために、ポイント減につながったのかもしれません。



（3） 講演を聞いた後の、**海外旅行**に対する意欲を教えて下さい。

今回の「若旅★授業」を受けて、19.3%の生徒が「とても行きたい」、30.2%の生徒さんが「行きたい」と答えてくれました。

講演前の回答と比較すると、「とても行きたい」、「行きたい」と答えてくれた学生さんは、58.5%から49.5%に変化(9.0%減)しました。治安の悪さや生活習慣の違いなどの話もあり、国内旅行と同じく、少し大変そうなイメージにつながったようで、残念ながらポイント減という結果になってしまいました。



（4） 講演で特に印象的だったことを教えてください。

- 旅から人との関わりを知れたこと。
- 旅先の人と関わることの大切さ。
- 自分で積極的に話しかけてみたり、現地の物を食べたりしたら更に発見が増える。自分一人で勇気を持って行ってみる。
- お金はないけど時間はあるという言葉。
- 旅行に行くときの節約の仕方は参考にします
- 青春18きっぷの活用。青春18きっぷでの電車旅
- 2＋6＝□　□＋□＝8

（5） 講演でこんなことをもっと聞きたかった、こんなことをしてみたかったということがあれば教えてください。

- 青春18きっぷの入手方法
- おすすめのプラン
- ヨーロッパに1週間旅行するとしたら、何円かかりますか？
- 絆旅行について
- オススメスポット

（6）どのような取組を行ったら、若者が旅行に出ると思いますか。

- 安いプランの旅
  （若い人はお金がないから）
- 若者の特別割引き
  （安ければ行く回数や場所も増えるから）
- 若者向けプランの充実
  （バイトをあまりする時間がないため、お金がない）
- 若者向けに旅の案内とか
  （勇気が出なくても行きたいと思っている人はたくさんいると思う）
- 若者向けの旅行パック
  （若い人が旅に出ようと思うと、事前にやることが多いと思うので、それをパックにしてあると楽だと思う。）
- 学校行事。夏休みが長ければ
  （行く日が無いので勉強の息抜きをしたい）
- 何かとコラボしたりする
  （限定とか日本人はそういうのに弱いから）
- ポケモンGOのようなゲーム
  （世界的に普及しているから）
- アニメとかドラマに場を出す
  （行きたい人が増えるから）
- その人の趣味の聖地があったり、イベントがあると旅に出ると思う。
- 地元の食材のバイキング
  （興味がなくても行きたくなると思う）